

警察署協議会会議録

博多臨港警察署協議会

開催年月日時	令和7年9月11日 午後4時00分 から 令和7年9月11日 午後5時30分 まで	
開催場所	福岡県博多臨港警察署	
出席者	警察署協議会	会長、委員2名
	警察署	署長、副署長、地域管理官、総務課長、会計課長、生活安全刑事課長、交通課長、警備課長、事務局
議事概要		
【会長挨拶（要旨）】 ○ 今夏は大変暑さが厳しく、極端な猛暑が長く続いており、各種警察活動は大変ご苦労があったと思う。良い地域になるよう我々も協力して頑張っていく所存であるので、今後ともよろしく願います。 【署長挨拶（要旨）】 ○ 警察署も新体制となり、後半戦の年末イベント、大相撲九州場所の特別警戒等目標に向かって、署員一同士気を高めて取り組んでいる最中である。 ○ 本日は、先ず管内情勢報告を行い、その後、職務倫理やハラスメントに関する当署員の検討会に参加していただく予定である。貴重なアドバイス、忌憚のない意見をよろしく願います。 【議事等】 1 管内情勢報告 総務課長から、令和7年上半期における刑法犯認知件数、110番受理状況、飲酒運転・交通事故状況等の管内情勢の報告が行われた。 委員から「クルーズ船の未帰船者に対する措置」について質疑がなされ、警備管理官から「関係機関と連携の上、法律に則り適切に対処している」旨回答がなされた。 また、委員から「自転車の飲酒運転は管内居住者が多いのか」旨質疑がなされ、交通課長から「当署管内居住者よりも帰宅のため管内を通過中の者の検挙が多い」旨回答がなされた。 また、委員自ら自身の会社で行われている飲酒運転対策の紹介を行い、署長		

議 事 概 要

以下大変参考となるものであった。

2 小グループ検討会

署員と委員による小グループを3班組成し、各種ハラスメント事案や職務倫理に関する事例を基に検討会を実施した。

署員が各々の経験や見解を意見発表し、委員が感想や所見を述べ、さらに両者で検討を行う等の形式で行われた。

ハラスメント事例では、

- ・ パワハラ事例については、「人前で行うと人権侵害になる可能性がある」「部下の成長を祈って指導すべき」「アンガーマネジメントが大事」等
- ・ セクハラ事例については、「一昔前にはも問題とならなかったものも現在では許されない」「過剰に委縮して安全策を取るのではコミュニケーションが枯れた冷たい職場となってしまう」「日頃から信頼関係を築くことが何より大事」等
- ・ 飲酒運転事例については、「宴会時に先に運転代行を呼ぶ等して安易に帰らせない」「飲酒日には車両のカギを預かるシステムには感服した」等

の意見が出された。

また、職務倫理事例では「警察官は何のために仕事をしているのか常に考え、県民のために仕事をしているということを肝に銘じなければならない」「強く優しい警察官を目指す」等の意見が出される等活発な討議がなされた。

検討会の総括として、委員から「警察官は命をかけて県民のために仕事をしているのがよく分かった」「署員の方々は大変勉強して、相手を思いやって仕事をしている人が多かった。」「時間が足りず残念だったので、グループワークの時間をもっと長くしてほしい。」「今後の財産になった。」等の感想を得られた。

【閉会】

総務課長が次回開催予定時期の案内を行い、本会議を終了した。